

平成 23 年 度

地理歴史（世界史）試験問題（6頁中の1）

（人文・社会科学専攻）

（注意） 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入せよ。正しく記入していない場合には採点されない  
ので注意せよ。

1 以下の[i]～[iii]の文章を読み、設問の指示にしたがって解答しなさい。

[i] 中国人が発明した火薬は黒色火薬とよばれるもので、9世紀にはその製法が知られていたという。また、11世紀ごろに記された『武経総要』という書物に火器に関する記述がみられる。こうした火薬や火器の知識は、女真族やモンゴル族に受け継がれた。女真族が建国した金については、朝鮮半島の高麗王朝に対する攻撃において火器を使用したことが記録されている。<sup>[ア]</sup>モンゴル族は13世紀にユーラシア大陸およびその周辺各地に対する軍事遠征をおこなったが、火器は彼らの軍事遠征でも使用された。<sup>[イ]</sup>西アジアにおける火器の使用は、1360年代なかばごろのエジプトにさかのぼるといふ研究がある。とはいえ、当時エジプトを支配していた<sup>[ウ]</sup>□□□□朝では、火器の使用はさほど進展しなかったようである。他方、オスマン帝国は火器の活用に関心を示し、14世紀末ころから徐々に火器の導入を進めた。<sup>[エ]</sup>オスマン帝国が15世紀なかごろに実施したある都市の攻略戦では、巨砲を含む大量の火器が使用されたという。16世紀、オスマン帝国は、キジルバシュの騎兵軍を中心とする<sup>[オ]</sup>□□□□朝の軍勢を撃破した。この時のオスマン帝国の勝因のひとつとして、イエニチェリがもつ小銃の威力が指摘されている。なお、インドにおけるムガル帝国の成立・発展にも、火器が重要な役割を果たしたという。

設問1 下線部[ア]について、金が1125年に滅亡させた国家の名称を答えなさい。

設問2 下線部[イ]について、モンゴル族が建国した元の軍事遠征は東南アジア地域に対してもおこなわれ、ミャンマーでは元軍の侵入によって王朝が滅亡した。この王朝名を答えなさい。

設問3 下線部[イ]について、当時ベトナムに成立していた王朝は元軍の侵入を撃退することに成功した。このベトナムの王朝名を答えなさい。

設問4 空欄[ウ]に入る王朝名を答えなさい。

設問5 下線部[エ]について、この都市名を答えなさい。

設問6 空欄[オ]に入る王朝名を答えなさい。

設問7 下線部[カ]について、イエニチェリの説明としてもっとも適当なものを下記のA～Dのなかから選び、記号で答えなさい。

- A. オスマン帝国軍隊の主力となったトルコ系騎士軍団
- B. アジア、ヨーロッパ系の白人奴隷兵で構成されたオスマン帝国の騎士軍団
- C. アフリカ系の黒人奴隷で構成されたオスマン帝国の歩兵軍団
- D. オスマン帝国の常備歩兵軍団

[ii] 製紙法は、後漢の [キ]  が105年ごろに発明したと古くから信じられてきた。『後漢書』や後漢時代に編纂されたとされる『東觀漢記』には、それを肯定する記述がある。ところが、近年は彼を紙の発明者と位置づける記述が変化し、「紙を発明したと伝えられる」や「紙を改良した」などと記されるようになってきている。これは、20世紀に中国の古代遺跡の発掘調査が進化した結果、紙の使用が彼より前の時代にさかのぼることが明らかになったためである。ただし、そのころの紙の主な用途は、包装や装飾にあったという指摘がある。つまり、彼の製造した紙は、書写材料としての紙の実用化の始まりを示すものであったというのである。8世紀になると、この世紀のなかごろに中央アジアで発生した事件が契機となって、中国の製紙法は西アジアへ伝えられた。 [ク] 製紙法はバグダードなどの主要都市へ伝播し、[ケ]  や羊皮紙などにかわって紙が主要な書写材料になっていった。この製紙法の伝播は、科学・文学・哲学関係の書物の普及をうながすなど、イスラーム文明の発展に多大な影響をおよぼした。

木版による印刷術は、中国の唐の時代に発明された。それは成都で始まったといわれるが、この王朝の末期には首都でもおこなわれていた。 科学技術が飛躍的に発展した宋代には木版印刷も盛んとなり、經典や史書、さらに医学・薬学・数学などの科学書も出版されるなど、知識の普及に貢献した。 朝鮮半島では、高麗王朝の時代に金属活字が使用された。 この王朝の [ス]  世紀前半の支配者であった [セ]  の治世に印刷された『詳定古今礼』は、世界最古の金属活字の事例であるといわれている。 [ソ] 朝鮮王朝の時代にも、鑄字技術や組版技術の発展がみられた。

設問8 空欄[キ]に入る人物名を答えなさい。

設問9 下線部[ク]について、製紙法の伝播と関連がある事件を答えなさい。

設問10 空欄[ケ]に入る適当な語を答えなさい。

設問11 下線部[コ]について、この王朝の首都名を答えなさい。

設問12 下線部[サ]について、宋代に司馬光が編纂した史書の名称を答えなさい。

設問13 下線部[シ]の王朝の首都名を答えなさい。

設問14 空欄[ス]に入る適当な数字を答えなさい。

設問15 空欄[セ]に入る支配者名を答えなさい。

設問16 下線部[ソ]の朝鮮王朝は李氏朝鮮または李朝ともいわれる。この王朝の創始者を答えなさい。

[iii] 前近代のインドの教育施設として、<sup>[タ]</sup> ビハール州南部で5世紀から12世紀にかけて栄えた仏教の僧院があげられよう。  
 [チ]  世紀にこの仏教僧院を訪れた玄奘と義浄は、数千人の学僧がここで学問に専念していたことを記している。この仏教僧院では、初等教育と高等教育の両方が実施され、仏教の教理だけでなく、<sup>[ツ]</sup>  語の文法の習得にも重点がおかれていた。この僧院は、主にグプタ朝の代々の王が寄進した土地の収入により維持された。10世紀以降になると、碑文などの資料に<sup>[テ]</sup> ヒンドゥー教の王の寄進により設立された教育施設に関する記述が登場する。また、各地のヒンドゥー教寺院に学校が設置されていった。

前近代のイスラーム社会では、マクタブ（またはクッターブ）とマドラサという2つの教育施設が重要な役割を果たした。マクタブは初等教育施設であり、ここではイスラームの戒律、簡単な<sup>[ト]</sup>  語の読み書き、<sup>[ナ]</sup>  の暗誦などを教えた。他方、マドラサは寄宿制の高等教育施設で、イスラーム諸学の教育とそれに通じた学識者の養成を目的としていた。マドラサは、11世紀後半に<sup>[ヌ]</sup>  朝の宰相のニザーム＝アルムルクがバグダードをはじめイラクやホラーサーン地方の主要都市に<sup>[ネ]</sup>  学院を建設したことにより普及が本格化した。シリア地方には、12世紀なかごろからこの地を支配した人物によってマドラサが導入された。その後、サラディン（またはサラーフ＝アッディーン）と<sup>[ノ]</sup> 彼の王朝の支配層は、シリアとエジプトの各都市にマドラサを多数建設した。そして、それに続く数世紀の間に、マドラサは<sup>[ハ]</sup> マグリブ、インド、中央アジアなどイスラーム世界各地に普及した。マドラサが数多く建設され、イスラーム諸学の中心地となった都市として、バグダード、ダマスカス、カイロ、<sup>[ヒ]</sup> 15世紀のサマルカンド、オスマン帝国支配下のイスタンブルなどがあげられる。これらの都市には、各地から多数の学者や学生が集まった。なお、マドラサと他の宗教施設との区分は必ずしも明瞭ではなく、マドラサが同時に礼拝所の機能をもつことも少なくなかった。たとえば、<sup>[フ]</sup> カイロのアズハル学院は、モスクとその周囲に増設された学生寮とマドラサの複合施設であった。

設問17 下線部[タ]について、この仏教僧院の名称を答えなさい。

設問18 空欄[チ]に入る適当な数字を答えなさい。

設問19 空欄[ツ]に入る言語名を答えなさい。

設問20 下線部[テ]について、この宗教の三大神のひとつで、世界（宇宙）維持の役割をもつ神の名称を答えなさい。

設問21 空欄[ト]に入る言語名を答えなさい。

設問22 空欄[ナ]に入る適当な語を答えなさい。

設問23 下線部[ニ]について、こうした学識者たちは一般に何とよばれたか、答えなさい。

設問24 空欄[ヌ]に入る王朝名を答えなさい。

設問25 空欄[ネ]に入る教育施設の名称を答えなさい。

設問26 下線部[ノ]について、この王朝名を答えなさい。

設問27 下線部[ハ]について、マグリブの説明としてもっとも適当なものを下記のA～Dのなかから選び、記号で答えなさい。

- A. サハラ砂漠以南のアフリカ地域
- B. エジプト以东の東アラブ地域
- C. モロッコ、チュニジア、アルジェリアなどを含む北西アフリカ地域
- D. 黒海、エーゲ海、地中海に囲まれた半島地域

設問28 下線部[ヒ]について、当時この都市を支配していた王朝の名称を答えなさい。

設問29 下線部[フ]について、アズハル学院が設立されたのは何世紀か答えなさい。

設問30 下線部[フ]について、アズハル学院の説明としてもっとも適切なものを下記のA～Dのなかから選び、記号で答えなさい。

- A. 当初はスンナ派教学の中心地で、その後シーア派教学の中心地となった
- B. 当初はハワーリジュ派教学の中心地で、その後シーア派教学の中心地となった
- C. 当初はハワーリジュ派教学の中心地で、その後スンナ派教学の中心地となった
- D. 当初はシーア派教学の中心地で、その後スンナ派教学の中心地となった

2 下記の文章を読み、設問に答えなさい。

2010年 FIFA ワールドカップは南アフリカ共和国で開催され、スペインとオランダが決勝を戦い、スペインが優勝した。

開催地となった南アフリカには、もともと狩猟・採集民のブッシュマンと牧畜民のホッテントットが住んでいた。やがて農耕民のバントゥー系のアフリカ人が北方から南下し、15世紀には全土に広く定住した。15世紀末、最初のヨーロッパ人としてポルトガル人が来航したが、(イ)、モザンビークを貿易の拠点としたため、この地は放棄された。1652年オランダ東インド会社が東洋貿易の補給基地を設けるため現在のケープタウンに上陸し、ケープ植民地を開設した。その後オランダ本国からの移民が原住民から土地を奪い、彼らを労働力として農場を経営し、入植地を拡大していった。それが、いわゆるブール人を形成する。18世紀末から19世紀初めにかけて、イギリスはケープ植民地がフランスの手に落ちることを恐れて、二度にわたり占領した。ナポレオン敗北後の1814年にケープ植民地はイギリス領となった。それ以後の南アフリカの歴史は、イギリス人とブール人、白人と黒人の間の長い闘争の歴史であった。ブール人はイギリスの支配を避けて北方の後背地に移動し、ナタール地方にナタール共和国を打ち立てたが、43年イギリス軍に敗れ、ナタールはイギリス領となった。ナタールを逃れたブール人はトランスヴァール共和国とオレンジ自由国を建国した。しかしイギリスはオレンジ自由国、トランスヴァール共和国で金鉱が発見されると圧迫を強め、ケープ植民地首相は、トランスヴァール征服を企てたが失敗した。トランスヴァール共和国とオレンジ自由国は南アフリカ戦争を戦ったが敗れ、イギリスの植民地となった。戦後イギリスは多数派黒人の支配のためにブール人との和解を図り、1906年ブール人に先住民への優越を前提とする自治を与えて、人種差別政策の先駆けとした。1910年ケープ、ナタール、トランスヴァール、オレンジ自由国の四州を統合して、南アフリカ連邦が発足した。ブール人やイギリス系人など総人口の2割を占めるにすぎない白人が政治権力を排他的に掌握し、黒人、インド人、混血人などの非白人に対する人種差別と人種隔離政策を推し進めた。第二次大戦後、アジア・アフリカ各地で反植民地闘争が激化し、国内でもアフリカ人の反人種主義闘争が高揚すると、政府は人種差別法を次々と制定して人種隔離政策を強化した。49年には(キ)を併合し、人種隔離政策を施行した。南アフリカ連邦は本国イギリスや世界各国の非難を浴びるようになったため、61年、イギリス連邦を脱退し、共和国となった。70年代半ばのポルトガル領(イ)、モザンビークの独立、ジンバブエ、(キ)における解放闘争の激化、76年のヨハネスバーグ郊外の黒人居住区における住民蜂起は、政府に政策の再考を迫った。国際的圧力もあり人種隔離政策は徐々に見直され、(ケ)政権は、91年差別諸法を全廃し、94年には平等選挙権も認めた。選挙の結果、アフリカ民族会議が過半数を制して黒人の(コ)が大統領に当選した。

設問1 下線部アについて、暴風で流されアフリカ大陸最南端の地を発見した航海者は「嵐の岬」と名づけたが、それを「喜望峰」と改名した人物を答えなさい。

設問2 (イ)に入る地名を答えなさい。

設問3 下線部ウについて、ナポレオン戦争中にイギリスが占領して領有が承認された他の旧オランダ領の地名を答えなさい。

設問4 下線部エについて、ケープ植民地から逃れたブール人がナタール共和国を建てるために戦った王国名を答えなさい。

設問5 下線部オについて、人名を答えなさい。

設問6 下線部カについて、アフリカーンス語(初期移民のオランダ語が変形したもの)でなんと呼ばれているのか答えなさい。

設問7 (キ)に入る地名を答えなさい。

設問8 下線部クについて、ジンバブエと改称する前はなんと呼ばれていたのか答えなさい。

設問9 (ケ)に入る人名を答えなさい。

設問10 (コ)に入る人名を答えなさい。

優勝したスペイン人の根幹をなす祖先は、先住民のイベリア人と、前1000年ころにピレネー山脈を越えて北から移住してきた(サ)人の混血である。ピレネー山脈の南はヨーロッパではないといわれるほど、風土の上ではイベリア半島はアフリカに似ている。そこにローマは、一つの法、一つの言語、一つの宗教を持ち込み、イベリア半島は500年に及ぶローマの支配下で西ヨーロッパと共通の遺産を持つこととなった。その最大のもはキリスト教である。スペインの土地は800年近くにわたりイスラームに支配され、文化的にはイスラームの影響が大きいが、スペインの統一国家としての形成はイスラームとの対抗の中で行われた。

その中から強大となった(セ)のイサベルと(ソ)のフェルナンドとの結婚によってスペインの統一を達成し、1492年にはグラナダから最後のイスラーム王を駆逐した。この年のコロンブスによる西インド諸島の発見に始まる新大陸の植民地経営は大量の金・銀を流入させ、ハブスブルク家の支配下に空前の繁栄をもたらした。(ツ)の時代にはポルトガルを併合し「太陽の沈まぬ国」を実現させ、世界最強の海上帝国として繁栄した。しかし17世紀中葉以降に衰え、18世紀にはブルボン家の支配に入った。20世紀に入ると、政治不安と労働運動の激化から独裁を招いた。独裁の崩壊と王政廃止に次ぐ第二共和政府も、フランコ將軍の反乱、それに続くスペイン内乱のなかで崩壊し、フランコ体制は約40年にわたって存続した。1975年フランコの死によりその政治体制はただちに崩壊し、ブルボン家の(ト)が即位して王政が復活、その下で国民投票が行われて新憲法が承認され、民主化が前進した。

設問11 (サ)に入る適当な語を答えなさい。

設問12 下線部シについて、ローマ帝国内でキリスト教信仰を公認した勅令名を答えなさい。

設問13 下線部スについて、イベリア半島にイスラーム軍が侵入したときに支配していた王国名を答えなさい。

設問14 (セ)に入る王国名を答えなさい。

設問15 (ソ)に入る王国名を答えなさい。

設問16 下線部タについて、『世界史序説』を著したイスラーム世界を代表する歴史家は一時この王朝の廷臣であった。その歴史家の名を答えなさい。

設問17 下線部チについて、征服者たちは先住民の保護とキリスト教化を条件として、スペイン王から先住民たちとその土地の支配を委託された。この制度名を答えなさい。

設問18 (ツ)に入る人名を答えなさい。

設問19 下線部テについて、これに関連して北アメリカでもイギリスとフランスの抗争が起こったが、その名称を答えなさい。

設問20 (ト)に入る人名を答えなさい。

決勝で敗れたオランダは、16世紀末に独立するまで、今日のベルギー、ルクセンブルク、北フランスの一部を含むネーデルラントの一部をなし、これらの地方とは共通の歴史を持った。ローマ帝国衰退後、オランダはフランク王国、中部フランク王国、東フランク王国、神聖ローマ帝国の領域に組み入れられたが、実質的には数個の封建領邦に分割統治されていた。こうした地方分立を克服し、民族国家としてのオランダが形成され始めたのは、14世紀後半からであった。南の(ニ)国が進出してしだいに政治的統一に向かった。1477年(ニ)女とオーストリア大公との結婚により、この地はハプスブルク家の所領となり、スペイン=ハプスブルク家の成立とともにスペインの領土となった。(ツ)による重税と新教徒迫害に対して、1568年オラニエ公ウィレムを指導者とする反乱が起こり、オランダ独立戦争に発展した。南部10州の脱落后、北部7州は、「永久に一州のごとく」行動しスペイン軍との戦いを継続することを約し、1581年独立を宣言した。17世紀前半のオランダは、東インド会社による海外発展、干拓事業の推進、芸術・学問の開花によって黄金時代を創出し、首都アムステルダムは世界の貿易・金融の中心となった。しかしイギリス=オランダ戦争での敗北、フランス軍の侵入によって弱体化し、1795年にはフランス革命軍の攻撃に屈し、バタヴィア共和国が成立した。1806年ナポレオンは弟を国王に任命したためオランダは王国となり、1810年にはナポレオン帝国に併合された。ウィーン会議の結果、1815年オランダ立憲王国が成立したが、1830年ベルギーが分離独立した。1848年全ヨーロッパに革命機運が高揚したなかで責任内閣制が確立した。

設問21 下線部ナについて、この地方にはじめて言及したローマ時代の著作を答えなさい。

設問22 (ニ)に入る適当な語を答えなさい。

設問23 下線部ヌについて、この人物名を答えなさい。

設問24 下線部ネについて、なんと呼ばれていたのか答えなさい。

設問25 下線部ノについて、これをなんと呼ぶのか答えなさい。

設問26 下線部ハについて、この独立宣言によって誕生した国の正式な名称を答えなさい。

設問27 下線部ヒについて、東インド会社が東インドにおける基地として総督府を置いた地名を答えなさい。

設問28 下線部フについて、オランダ盛期の市民生活を描き、光と影の描写にすぐれ、近代絵画技法を確立したオランダ画派を代表する画家の名を答えなさい。

設問29 下線部ヘについて、この戦争の原因となったものを答えなさい。

設問30 下線部ホについて、オランダが併合する以前はどこの領地であったのか答えなさい。

防衛大学校本科第59期学生

一般採用試験第1次試験問題正誤表

専攻	人文・社会科学
教科	地理歴史
科目	世界史

修正箇所	誤	正
<p>試験問題</p> <p>6頁中の1</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> [i]</p> <p>(上から5行目及び6行目)</p>	<p>1360年代なかばころの エジプトにさかのぼると いう研究がある。とはい え、当時エジプトを支配 していた</p>	<p>1360年代なかばころの エジプトにさかのぼると いう研究がある。とはい え、当時エジプトを支配 していた</p>

※ 二重線は、修正箇所を示す。